

令和6年度 聖華みどり保育園：自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせるよう改善等を話し合いました。

評価者 園長：小野 和代
主任：安原 亜沙子

【A】 十分できている
【B】 だいたいできている
【C】 一部検討を要する

項目		内容	評価			意見・改善策
			A	B	C	
保育目標について	1	保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○			様々な場面において振り返りと反省を行い、会議等で定期的に共有した。子どもの成長を振り返り、次年度の保育の見通しや方向性を具体的に捻出した。保育の質の向上を目標に取り組みをしてきたが課題も多く、園全体で共通認識をもって取り組めるよう努める。
	2	目標は各施設や地域の特色を生かしているか	○			
	3	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○			
	4	目標は、前年度の反省を生かしているか。	○			
	5	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○			
保育について	1	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○			年度初めに保育所保育指針を必ず共有している。それを踏まえ保育計画を立ててきた。環境構成等は子どもの育ちに合わせ随時変更しながら整えてきた。また、乳児会幼児会の中でアイデアを出し合い、共有しながらより良い保育に努めた。反省として、幼児組の戸外遊びの時間が少なかったことがあがり、次年度へ反映させていく。
	2	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○			
	3	環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○			
	4	素材・用具を適切に活用しているか。	○			
	5	評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○			
日事項	1	1日の流れ(デイリープログラム等)は、現行でよいか。		○		子どもの成長に合わせて変えていけるよう、保育の反省と一緒に生活の流れについても定期的に確認を行ってきた。クラスによっては遊びよりも生活が優先になってしまうクラスがあったため、実際に保育に入りながら助言をしてきた。
行事について	1	行事の種類や実施回数は適切か。	○			今年度は園主催の初めての夏祭りを行ったり、保護者参加行事を十分に取り入れてきた。運動会においては初めて小学校を借りて全学年で行い、保護者参加無制限で行った。開催への感謝と労いの言葉をたくさん頂いた。その他の行事についても子どもの姿を反映した計画を心掛け進めてきた。保護者アンケートの公表に努めつつ、職員間での反省も行い、次年度へ反映させていく。
	2	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○			
	3	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○		
	4	計画・実施・評価・改善の体制をとっているか	○			
	5	保護者の願いや意見を取り入れているか。		○		
経営・組織	分掌・体制	1 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		この一年、保育や職員、子どもや保護者のことなど一つひとつを丁寧に見極め見直ししながら、試行錯誤して進めてきた。夏祭りや運動会等初めても試みも多く、職員とよく話し合いをし協力体制の中で進めることができた。園全体がまだまだすり合わせていく必要がある部分も多く、次年度も丁寧に進めていく。
		2 職務内容が明確で、協働できる体制になっていか。		○		
		3 職員の配置は適材・適所か。		○		
		4 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運営	1 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			職員が主体性をもって会議に参加できるよう会議の持ち方に工夫をしてきた。後半は活発な意見交換ができるようになっており、係等も積極的に発言していた。職員のモチベーションにもつながっていると感じる。
		2 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		3 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	年齢別・クラス経営	1 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○			・期ごと、月ごと、週ごとに振り返りながら目標設定をし、その目標に向けてしかかりと保育が進められていた。 ・年度の初めには保育指針を見直しながらクラス毎の会議を行い、子どもの育ちについて職員間で話し合う機会を作り、保育目標を踏まえたスローガンと保育の方向性についての共通認識を図った。また会議等で定期的に反省を行いながら保育を進めてきた。昨年度上がってきた反省は次年度に活かしていく。 ・縦割り保育については今年度は1度しか機会を設けられなかったため、次年度の保育計画に入れていく。
		2 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○			
		3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		5 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		6 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	○			

項目			内容	評価			意見・改善策
				A	B	C	
経営・組織	保健・安全指導	1	年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			・定期的な保健指導の実施や感染症流行時には掲示の他、コドモンの配信にて注意喚起等行い理解を頂いた。園だより等でも保護者に喚起した。また、園内の清掃消毒は平常時も継続して行っている。 ・毎月の避難訓練では、主に通報訓練、消防署の立会い訓練、風水害訓練、警察署立会いでの不審者侵入時訓練、交通安全指導を行った。保護者参加の引き取り訓練も行った。やるたびに課題が見つかり、その都度、見直してきた。
		2	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		3	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		4	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			
研究・研修	所内で研究・研修	1	研究主題は、保育目標の具現化につながるものあるか。	○			キャリアアップによる任命を行うことで、より専門性を深めた活動や意識を持つことができたが、日々の保育に追われることも多く、発揮しきれないこともあった。 園内研修については、職員が学んだ知識をプレゼンテーションすることでスキルアップに繋がっている。
		2	所内研修の計画・運営は適切か。		○		
		3	研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
		4	研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○			
	所外研修	1	各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			東葛支会研修、千葉県保育協議会主催研修、市内公私合同研修、姉妹園研修等、積極的に参加し、参加した職員は園内に還元する機会を設け、保育の質の向上に努めた。
		2	各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○		
情報について			1 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○			・連絡内容は、事務所（園長、主任）が都度、確認や承認をする流れになっているため、より適正に取り扱うことができている。 ・PC等の取り扱いについては持ち出し表を使い園長、主任、事務長の管理の元、行っている。 ・必要な物には適宜パスワードをつける等して行っている。
			2 公文書収受は圧送処理を適切に行っているか	○			
			3 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○			
施設・設備			1 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			・設備に関しては各所に経年劣化が目立ち、保育機の修理交換、避難車の修理と購入、給食室の配管やエアコン交換など、高額になる項目が多くあった。保育教具についても修繕や新規購入が検討される。 ・不審者対応訓練も我孫子警察署の協力を頂き実施できた。 ・掲示のコーナーを設けているため、効果的に発信できている。
			2 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。			○	
			3 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか	○			
			4 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○			
出納・経理			1 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			引き続き、効果的に進められるように心がけたい
開かれた保育所づくり	施設間交流	1	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○			・姉妹園交流や近隣園交流など、積極的に行う。運動会の遊戯を見せ合ったり、ゲームやリレーなどとして子どもたちの刺激となる交流となった。 ・幼保小の連携については5歳児が実際に小学校へ外向き、授業見学や体験、昔遊びの会へ参加するなどを行った。また、市のカリキュラムに沿って交流を行い、職員は地区別会議等にも積極的に参加し、顔を合わせた会議をすることで、より連携が取りやすくなっている。
		2	他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○			
		3	指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○			
		4	参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○			
		5	日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○			
	家庭地域との連携	1	参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		・今年度は給食試食会を実施する。参加率があまり良くなかったので、次年度は工夫が必要。 ・保育参観として乳児は平日1週間の間に普段の様子を見てもらい、幼児は英語、体育指導、一斉保育の様子をみてもらった。 ・花と緑の会に方に協力をもらい、季節の花の植栽を行っている。 ・香取神社のお祭りに参加したり、近隣スーパーへの買い物や職場見学を行った。小中学生の職場体験を受け入れた。
		2	保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○		
		3	(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○			
		4	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		

項目			内容	評価			意見・改善策
				A	B	C	
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	1	地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○			・地域の親子向けに園見学や園庭開放、マイ保育園を実施し、保育園の見学や保育体験の機会を提供できた。 ・医療機関、児童相談所、子ども相談課、保健センター、こども発達センター、巡回相談等との連携を密にとり丁寧な子育て支援を行うことができた。
		2	地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○			
		3	「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○	
		4	職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○			
		5	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している。	○			
	情報の発信	1	保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○			コドモンの資料室を活用することにより、保護者にも見やすくなっている。また、インスタグラムは食育や行事等、保育活動の様子を配信している。
		2	行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	○			
	外部評価	1	第三者評価を導入し、施設運営に反映している。			○	今年度は第三者評価を受診していない。保護者からは行事終了後に必ずアンケートにて意見をいただき反映に向けて努力している。
		2	地域や保護者の意見を施設運営に反映している。	○			